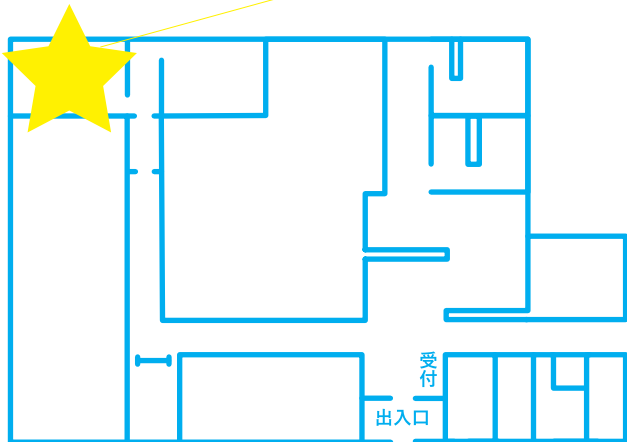


MEDIA公開講評会 PRACTICE CE13-14

2014.1.17.fri
18:00-20:00

メディア映像専攻7期生の修了制作展にて、国内外で活躍されている3名のアーティストをお招きして、公開講評を開催します。作品の講評のみならず、アーティストとして活動することについてのリアルなお話を伺える機会になればと考えています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

会場：新港校舎 上映室



ゲストプロフィール

宮永愛子(みやながあいこ)

美術家。1974年京都市生まれ。2008年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了。日用品をナフタリンでかたどったオブジェや、塩を使ったインスタレーションなど気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。2013年「日産アートアワード」初代グランプリ受賞。主な展覧会に「宮永愛子：なかそら一空中空一」国立国際美術館(大阪、2012年)など。

小泉明郎(こいずみめいろう)

1976年生まれ。横浜市在住。国際基督教大学卒業後、ロンドンのチェルシー・カレッジにて映像を学ぶ。主な個展に「Project Series 99: Meiro Koizumi」ニューヨーク近代美術館(2013年)、「Stories of a Beautiful Country」Centro de Arte Caja de Burgos (CAB), (ブルゴス、スペイン、2012年)、「MAM Project 009: 小泉明郎」森美術館(東京2009年)など。主なグループ展に「フューチャー・ジェネレーション・アート・プライズ2012」ピンチュック・アートセンター(キエフ、2012年)、「リバブル・ビエンナーレ2010」(2010年)、「第一回あいちトリエンナーレ」(2010年)など。

篠田太郎(しのだたろう)

1964年東京生まれ。造園を学んだ後に作家活動を開始する。宇宙を含む森羅万象を「人類の営みが共存するような進化する自然として理解する」ことをテーマに、見事な手作業による彫刻やインスタレーションを制作し、高い評価を受けている。主な個展に、イザベラ・ステュワート・ガードナー美術館(ボストン、2009年)、REDCAT(ロサンゼルス、2005年)、広島市現代美術館(2002年)など。主な国際展に「SCULPTURE GARDEN(COLLABORATIVE PROJECT) / KAZ OSHIRO / TARO SHINODA」ラス・シエネガス・プロジェクト(ロサンゼルス、2011年)、「ネイチャー・センス展」森美術館(2010年)、イスタンブール・ビエンナーレ(2007年)、釜山ビエンナーレ(2006年)など。